

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	11	豊田市立 古瀬間小 学校	代表	河原佳代子
------	----	--------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域とのつながりを生かして、心豊かでたくましい児童の育成	分野	b	地域連携
	サブテーマ 保護者・地域との連携・協働による教育課程の実現、学習内容の充実、環境整備	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>「地域とのつながりを生かして、心豊かでたくましい児童の育成」の実現のため、次の3点を視点に学校づくりを進める。</p> <p>1 各教科、総合的な学習、特別活動に保護者・地域の力を積極的に活用し、地域を愛する豊かな心と仲間や周りの人と温かい人間関係を築き、たくましく生きることのできる力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域講師や地域・保護者ボランティア、地域の学習教材等を積極的に活用し、地域に学び地域を愛する心情と態度を育てる。 ・地域・保護者と古瀬間っ子に願う姿を共有し、福祉教育、環境教育（SDGS）、平和学習、キャリア教育などを進め、豊かな心とたくましく生きる力の育成を図る。 <p>2 人とのかかわりを苦手とする児童への個別対応の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の相談員や学生ボランティアとのふれあいを通して心の安定を図り、よりよい対人関係を築くことができるようにする。 <p>3 校舎内外の教育環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員や地域ボランティアによる環境整備を進め、児童が安全に学校生活を過ごし、快適な環境の下で友達とかかわり合い、学習や運動に取り組めるようにする。 			
活動内容・計画	<p>1 保護者・地域ボランティアとの連携・協働により、「心豊かでたくましい児童の育成」を目指したカリキュラムの編成をし、学習活動の充実に生かす。</p> <p>(1) 各教科・総合的な学習・特別活動等で地域講師や地域・保護者ボランティアの協力を仰ぎ、学習活動の充実を図る。</p> <p>(2) 地域の場所や季節の行事、地域が取り組んでいる自然環境の保全整備活動（益富の虫と環境を考える会）を学習に生かし、地域の良さを知り、地域に積極的にかかわろうとする心情と態度を育む。</p> <p>(3) 地域・保護者ボランティアを活用した読み聞かせや図書館整備を通して、本に親しみ、豊かな心の情操を目指す。</p> <p>2 心の相談員や学生ボランティアによる児童への支援</p> <p>(1) 心の相談員による相談時間を児童・おび保護者に伝え、安心して相談室に来室し、相談を受けることができるようにする。</p> <p>(2) 心の相談員や学生ボランティアによる見守りを通して、精神的な不安のある児童や個別の支援が必要な児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。教室へ入りづらい児童への対応は、校内はあとラウンジで行う。</p> <p>(3) 校内はあとラウンジの環境や備品を充実させ、教室へ入りづらい児童が、気軽に利用できるようにする。</p> <p>3 校内整備員と地域ボランティアによる環境整備</p> <p>(1) 校内整備員が校舎内外の修繕や整備を適切に行うことで安全な教育環境を保つことができるようにする。</p> <p>(2) 校内整備員と地域ボランティアが運動場及び周辺の草刈りと花壇の整備を行い、子どもたちが安全で快適な環境の下で学習や運動ができるようにする。</p>			
補助員配置	<p>1 校内整備員</p> <p>2 心の相談員</p>			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、地域学校共働本部を中心とした地域ボランティアの方が多く活動している。また、地域には学習に生かすことのできる場所や施設、行事も多数存在している。こうした地域人材や学習教材を学びに生かすことで、心豊かな「古瀬間大好きっ子」が育っている。これらを一層活用することで、地域を愛し、積極的に地域にかかわろうとする心情と態度を育てることができると考える。 ・地域・保護者と古瀬間っ子に願う姿を共有し、地域の方や地域・保護者の紹介による外部講師を活用することで、福祉教育、環境教育（SDGS）、キャリア教育、平和学習などの充実が図られ、心豊かでたくましく生きる力を育成することができると考える。 ・本校には、人とのかかわりを苦手とする児童が複数いる。不登校傾向や、登校を渋り、教室へ入れない児童もあり、対応に難しさを感じている。そのため、心の相談員の対応時間を充実させたり、学生ボランティアが児童に寄り添ったりすることで、改善が期待できる。 ・校舎の老朽化や樹木の老木化に伴い、修繕や整備が必要な箇所が随時報告されているが、校内整備員が校舎内外の整備を迅速かつ適切に行うことで、安全な環境で子どもたちが過ごすことができている。また、校内整備員や地域ボランティアが運動場と周辺の草刈りや花壇の整備を行うことで、子どもの活動の安全を保障するとともに、快適な環境で生活することができると期待する。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観やホームページ、学校だよりを通して、読み聞かせの時間や総合的な学習、各教科の授業、特別活動を公開・発信し、子どもたちの活動している姿を伝える。 ・地域との連携と協働による学習活動が保護者の理解を得ているか、保護者アンケートで検証する。 ・校内整備員は、安全点検後の修繕状況、草刈り等の活動状況と子どもたちの活動の様子から検証を行う。 ・心の相談員の活動については、児童や保護者の来室の様子や問題を抱えている児童の登校の様子を観察する。相談員の活動記録からも検証する。 			